

## 令和4年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

### 1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
熊本県	八代市	東陽ブランド化推進協議会	●	●	□	A	事業実施計画に基づき、概ね達成出来ている。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

### 3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である東陽町河俣保育園 園長 平木恵子氏、東陽町体育協会 副会長 上村克弘氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

#### 【第三者】

東陽町河俣保育園 園長 平木恵子  
東陽町体育協会 副会長 上村克弘氏

#### 【意見聴取の概要】

令和4年度の活動としては、まず専門チーム体制を確立したことが、継続した事業を進める上で必要なものであり、評価に値するものである。

チームごとの活動としても、コゴミ・タケノコ芋等の圃場整備並びに栽培体制の構築、ジビエ肉等では試作を重ねての加工品開発、観光交流に関しては、観光型農業体験の実施並びにバイク・自転車ツーリズムイベントの開催など、地域資源を活用した様々な取り組みを行ったことについても評価出来る。

特産品販売チームでは、新たな販売方式として、郵便局のふるさと小包と観光PRを一緒にした商品を全国初の取り組みとして実施されたり、付加価値向上となる無農薬、減農薬など厳選した商品だけを取り扱うこだわりスーパーでの試験販売など、販路開拓にも尽力されている。

最終年度となる令和5年度では、これらの取り組みを更にブラッシュアップし、地域の所得・雇用の増大を目指して取り組んでいただきたい。